

香川県の桑園線虫相

渡辺丈夫・樋田幸夫*

桑の生育を阻害する植物寄生線虫についての基礎資料を得るために、本県の桑園における線虫相の調査を行った。その結果、8 属 10 種の植物寄生線虫を検出した。これを検出頻度の高い順に示すと、*Paratylenchus elachistus*, *Gracilucus yokooi*, *Macroposthonia* sp., *Helicotyleuchus erythrinae*, *Xiphinema incognitum* X. *bakeri*, X. *insigne*, *Meloidogyne* sp., *Tylenchorhynchus* sp. および *Tylenchus* sp. であった。このうち *G.yokooi* など同定種 4 種と、*Macroposthonia* sp. など未同定種 3 種は四国地方の桑園では初めて検出されたものである。

本県の線虫相は、種類、個体数とも比較的少ないことなどの点で、荒地や乾燥地の桑園のそれとよく類似しており、本県の桑園土壌が耕土として熟成していない乾燥地であることを示唆している。